

4. 観光・文化部門

ともに学びともに育つまち

- 【ありたい姿】5. 歴史と文化を感じ天草に誇りを持っている
- ・文化の振興
 - ・世界遺産や歴史文化の保存・継承

つながり稼げるまち

- 【ありたい姿】9. 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている
- ・魅力ある観光の創造

自然と共生するまち

- 【ありたい姿】17. 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができている
- ・自然資源を活用した地域の魅力向上

基本構想

- 【理念】ともに学びともに育つまち
- 【ありたい姿】歴史と文化を感じ天草に誇りを持っている

基本計画

政策名 文化の振興

現 状

- ・芸術文化活動を行う団体の減少や地域によって活動に差異があり、舞台発表の機会もコロナ禍で減少しています。
- ・資料館や市民センター等の文化施設の老朽化が進んでいます。
- ・天草市の国・県・市指定の文化財は206件ありますが、経年劣化等により修復をすべき箇所は増大しています。
- ・天草島内のそれぞれの地域で歴史や文化財の調査研究を行っています。

課 題

- ・新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、本物の文化芸術にふれる機会を設け、芸術文化活動に興味を持ってもらう必要があります。
- ・地域固有の祭りや伝統芸能等の魅力を伝承するための後継者育成が必要です。
- ・文化施設の老朽化が進んでいることで来館者の利便性の低下や、資料の適切な保存に支障をきたす可能性があります。
- ・文化財の保存・修復が必要な件数の把握と、補助等の充実による所有者負担の軽減を図る必要があります。
- ・各地に点在している多数の文化財の更なる調査研究が必要ですが、文化財専門職員が不足しています。また、大学や他自治体と連携した広域な文化財等の調査研究体制の充実や、友好交流都市等との文化的交流を行うことで、天草の文化的価値や良さを再認識し、市民の興味を高める必要があります。

施策計画

1. 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒を対象とした芸術体験教室やふれあい出前コンサート等の推進と併せて、市民シアター事業や全国で公開されている多様で豊かな芸術文化事業に、全ての市民が参加し触れる機会を増やします。
- ・自主的な文化活動を行う団体や市民芸術文化祭、伝統芸能の活動団体に対する支援を行います。
- ・資料館や市民センター等の文化施設の計画的な整備更新を進めることで、施設の魅力を高めるとともに長寿命化を図ります。

成果指標	指標名	調査方法
		市の芸術文化事業に参加した市民数

2. 文化財の調査研究・保存・継承

- ・地域固有の祭りや伝統芸能等の記録保存と継承活動を支援するとともに、市民が国・県・市指定文化財に興味を持つよう、市民講座等の充実・メディアやSNS等を活用した情報発信による周知啓発を図ります。
- ・指定文化財の維持保全に係る支援を充実することにより、文化財保護に対する市民の意識向上を図ります。
- ・史跡棚底城跡や天草に点在する文化財の更なる調査研究と、大学や他自治体との連携等による調査研究体制を確立して、文化財の保存と活用を推進すると共に、天草の歴史や文化を後世に継承する取り組みを推進します。

成果指標	指標名	調査方法
	市民講座に参加した市民数	実績調査

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

- 【理念】ともに学びともに育つまち
- 【ありたい姿】歴史と文化を感じ天草に誇りを持っている

基本計画

政策名 世界遺産や歴史文化の保存・継承

現 状

- ・「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され3年が経過しましたが、コロナ禍の影響も加わり、崎津集落やキリシタン資料館（天草キリシタン館・天草コレジヨ館・天草ロザリオ館・崎津資料館みなと屋）の来訪者が減少しています。
- ・世界遺産の登録条件として国の法律で確実に保護されていることとされており、崎津・今富集落は文化財保護法での重要文化的景観に選定されていますが、その特徴的な「トウヤ」や「カケ」の保存や、今富の農村景観などの保全が、人口減少や廃業により厳しくなっています。

課 題

- ・世界遺産としての価値を持続していくため、「崎津・今富の重要文化的景観」の維持・活性化に対する支援を強化する必要があります。
- ・空き家や家屋の解体が増え、特徴的なまち並みや「トウヤ」、「カケ」の保存が難しくなっています。
- ・崎津集落のみでなく、今富集落にも焦点を当てた活動の推進とともに、キリスト教の伝来・禁教・潜伏のストーリーをわかりやすく解説する体制や、文化財・信心具などの調査研究により、資産の価値をさらに高めていくことが重要です。
- ・長崎県の他の構成資産との広域連携により周遊性を高める必要があります。

施策計画

1. 世界遺産の保存・活用

- ・世界遺産を将来にわたって保護・継承していくため、世界遺産の統一メッセージである「住む人に誇りを、訪れる人に感動を」を基本理念に、構成資産の保存・活用やその周辺の環境整備、美しく誇れる景観の保全などを市民と行政が一体となって進めていきます。
- ・「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する長崎県の自治体と共同で、効果的な情報発信や市民・児童生徒の交流機会を増やすことなどにより、周遊性の向上や交流人口の拡大を目指します。

	指標名	調査方法
成果指標	崎津集落への来訪者数	実績調査

2. キリシタン史の調査研究・情報発信

- ・キリシタン史に関する歴史資料や信心具などの収集・調査研究により、歴史的資産の価値をさらに高め、後世への継承を目指します。
- ・キリシタン資料館の収蔵資料の保存・活用や展示内容の充実、各館の連携などを図り、キリシタン史をわかりやすく伝えることにより、天草の歴史文化に対する市民意識を高めるとともに、その魅力を市内外に広く発信します。

	指標名	調査方法
成果指標	キリシタン資料館 4 館の入館者数	実績調査

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 つながり稼げるまち

【ありたい姿】 多様な地域資源を生かし、魅力ある観光のまちがつくられている

基本計画

政策名 魅力ある観光の創造

現状

- ・本市は、雲仙天草国立公園にも指定されている自然景観をはじめ、イルカウォッチングや化石採集等の体験、キリシタン文化や豊富な農林水産物など、多彩な地域資源に恵まれています。
- ・近年は自然災害や感染症等の影響により観光需要が減退し、さらに、旅行形態の変化やニーズの多様化に加え、地域間競争が激しさを増しており、令和2年の宿泊者数は約20万人と大きく減少しています。
- ・天草ならではの価値ある資源、「本物」の資源を市民に再認識いただき、データ分析に基づいて効果的に観光情報を発信することで誘客につながるよう取り組んでいます。

課題

- ・観光地経営の視点に立ち、多様な関係者の合意形成、体系的なデータ収集・分析に基づいた実効性の高い戦略を策定し、実行体制の強化により、観光振興を図る必要性が高まっています。
- ・近年は混雑を避けたマイクロツーリズム（近場の旅行）化が進み、日帰り旅行の増加や滞在時間が短縮する傾向にあるため、観光拠点の魅力向上と併せて、拠点における発信力の強化により周遊へとつなげ、観光消費の拡大を図る必要があります。
- ・継続性の高い観光振興を図るためには、観光によるまちづくりに対する市民の理解を深め、共に創造することが重要です。そのために、観光事業者のリーダー育成をはじめ、市民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、併せて、幅広い観光に関連する産業と連携しながら、継続性の高い稼げる観光によるまちづくりを推進する必要があります。

施策計画

1. 地域資源を活かし周遊・滞在・交流につなげる「魅力づくり」

- ・自然や歴史・文化など、市内各地に点在する多様な地域資源を掘り起こし、事業者、市民、観光協会を中心とする関連団体、行政が主体的かつ継続的に磨き上げを行うことで魅力の向上を図ります。
- ・周辺自治体や連携自治体、関連団体等と連携した広域周遊ルート、市内周遊ルートの提案や教育旅行、将来的なインバウンド（外国人観光客）誘客を見据えながら、「本物」の資源をさらに磨き上げることで選ばれる観光地、稼げる観光地を目指します。

成果指標	指標名	調査方法
		宿泊客観光消費額

2. 周遊と滞在を促進する「観光インフラ」の充実

- ・道の駅などの観光拠点施設における情報発信機能の充実を図るとともに、老朽化施設の統廃合を進め、効率的な施設運営を行います。
- ・関連部署や団体等と連携して、地域資源である景観の維持や、宿泊・飲食・物産・体験施設等と連動することで観光客の受け皿の充実を図ります。
- ・陸海空の交通事業者、旅行事業者等と連携し、観光客の利便性の維持・向上を図ります。

成果指標	指標名	調査方法
		観光拠点施設等への来訪者数

3. 共感を生み、誘客へつなげる「観光プロモーション」

- ・多彩で魅力的な観光情報を伝え来訪につなげるために、観光動向調査や車両ナンバー解析システム等で得られたデータに基づいた戦略的な手法・手段（マーケティング）を用いて、より効果的な情報発信（広告宣伝活動・観光プロモーション）を行います。
- ・インナープロモーション（市民向けの観光情報発信）によって地域資源の再認識を促進し、誇りや郷土愛の醸成により地域資源のさらなるブラッシュアップ（磨き上げ）と市民が自ら観光情報を発信する力の強化に努めます。

成果指標	指標名	調査方法
		宿泊客数

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理 念】 自然と共生するまち

【ありたい姿】 豊かな自然と向き合い、保全・活用する仕組みができています

基本計画

政策名 自然資源を活用した地域の魅力向上

現 状

- ・ 恐竜等の化石をはじめとする学術的な調査・研究は、確実に進んでおり、世界的にも貴重な化石等の情報発信を行っています。
- ・ 市民を対象に出前講座や出前授業による教育普及活動を行っています。
- ・ 自然資源を活用し活動を行っている団体に対し、学術的支援を行っています。

課 題

- ・ 天草における豊かな自然資源の認知度向上が求められています。
- ・ 市民、関連団体、行政が連携し、豊かな自然資源を活用した取り組みを推進していくことが重要です。

施策計画

1. 「海にうかぶ博物館あまくさ」活動の推進

- ・ 天草の風光明媚な島の景観と豊かな生態系の魅力ある自然資源を活かし、学校や地域での出前授業や出前講座による教育普及活動の充実を図ります。
- ・ 天草の自然資源を活用している団体への学術的な支援活動を推進し、豊かな島の自然の魅力向上を図ります。
- ・ 恐竜化石や生態系の多様性など、学びの場としての豊富な素材を活かし、教育普及活動を推進するとともに、情報発信及び地域交流の拠点として御所浦恐竜の島博物館を整備します。
- ・ 博物館開館に向け官民が一体となって受け入れ体制を構築し、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。

成果指標	指標名	調査方法
	御所浦恐竜の島博物館来館者数	来館者集計

関連する SDGs ゴールマーク

